
救済者

鮫島憲治

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

救済者

【Nコード】

N3378L

【作者名】

鮫島憲治

【あらすじ】

主人公“私”の許に届いた“先生”からの手紙。

そこには、全ての人の罪を許す事に生涯を捧げた“先生”の悲しい過去が綴られていた。

1 (前書き)

‘悪い事’って何だろう？

‘正しい事’って何だろう？

それは一体、誰が決めるんだろう？

そんな事を考えながら書いてみました。

そ

私の許に先生からの手紙が届いたのは、桜の花が鮮やかに咲き乱れる、ある春の日の事でした。

「突然このような手紙を差し上げる非礼をお許し下さい。実は貴方にどうしてもお話ししなければならぬ事があるのです。本来ならばこちらから出向いてお話しさせて頂くのが礼儀なのは重々承知なのですが、昨年の秋頃からどうにも体の具合が優れず、最近では食事もともに喉を通らないという有り様なのです。今の状態では、そちらへ出向く事も、こちらへ貴方をお招きすることも出来そうに無いのです。しかしお医者様に診て頂くとう等という気は毛頭ございません。今更私のような愚か者の命を長らえたとして、それは正に百害あつて一利無しというものです。こんなことを書けば貴方はきっと、そんな事は有りません、先生はご立派な方です、等と言って下さるでしょう。しかしそれは大きな間違いです。今こうして、老体に鞭打ってこの手紙を認めているのも、この事を貴方に知って頂くには、死んでも死にきれないと思っているからなのです。前置きが長くなってしまったのでそろそろ本題に入らせて頂くかと思えます。何しろ今の私は、何時お迎えがきてもおかしくは無い状態なのです。それではお話ししましょう、この愚か者がかつて犯した、決して償えない過ちを」

先生からの手紙の続きをお話する前に、先生がどのような方だったのかをお話しさせて頂きたいと思います。

先生は一言で言えば、‘許す’事に生涯を捧げた方でした。

先生に過去の過ちを打ち明けたり、悩み事を相談すれば、誰もが救われるとまで謳われ、先生の許には連日、救済を求める人々が長蛇の列を作っており、その噂は遠く離れた私の住む町にも伝わって来た程でした。

私はそんな先生に、いつかお会いしてみたいと思っていました。

しかし当時の私には、遠く離れた先生の所まで行けるお金も時間も無く、それは叶わぬ夢なのだと言い聞かせ、時折耳にする先生の噂だけを楽しみにして、日々を過ごしていました。そんな時、先生が各地を巡り、‘許す事’の大切さを説く旅に出られるという噂が耳に入って来ました。

それを聞いた私は、どうかこの町にも先生がいらして下さいますように、と願っていました。

そしてその願いが通じたのか、遂に私の住む町に先生がいらつしやる事になったのです。あの日、先生が私の町で話して下さったのは、路上で突然刃物を振り回し、何の罪も無い人達を五人も殺した男の話でした。

家族からも、知人からも、仕事仲間からも疎まれ、親しい友人もいなかった彼は自分の人生に絶望し、凶行に及んだのです。

事件後彼は、世の中で普通に生きていける、幸せそうな人たちが憎かった、自分がどんなに苦しんでも手に入れられない物を、当たり前の様に手に入れている人達も一瞬で不幸のどん底に落ちる事もあるんだと言う事を、世間に示したかった、と、その動機を語り、当時大きな波紋を呼びました。

そして彼は法の裁きを受け、自らの命をもって、その罪を償うことを言い渡されたのでした。

しかし先生は、そんな人間であつても許せるようでなくてはならないとおっしゃったのです。

そして先生は、ご自分のお考えを、次のようにお話しなされたのです。

「彼がしてしまった事は、正に人の道から逸脱した、狂気の沙汰としか言い様がない行為である事は、間違いありません。しかし私は皆さんに、彼が何故、あの様な事を考え、そして実行に移してしまふような人間になってしまったのか考えて頂きたいのです。彼はこの世に生を受けた瞬間から、あの様な末路を辿る意外に無かった

のでしょうか？あの日路上で刃物を振り回して、多くの尊い命を奪った彼は、彼自身がずっと以前から目指していた自分の姿だったのでしょうか？そして彼はあの様な自分の人生にどれ程満足しているのでしょうか？何が彼を、赤の他人を何人も殺してしまう様な精神状態に追い込んでしまったのでしょうか？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3378/>

救済者

2010年11月12日07時17分発行